

# 会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回行田市行政改革推進委員会	
開催日時	令和5年2月3日（金） 開会：午後2時00分　閉会：午後3時00分	
開催場所	行田市役所　305会議室	
出席者氏名	新井啓介委員、金井陽一郎委員、坂本健蔵委員 佐藤範夫委員、関口圭市委員、寺山昌文委員 長岡幸雄委員、ビチャイサエチャウ委員、森田孝委員	
欠席者氏名	木村健二委員、小林永典委員	
事務局	渡邊総合政策部長 島田総合政策部次長兼企画政策課長、嶋田企画政策課主査 青柳企画政策課主任	
会議内容	（1）行田市行財政集中改革プラン2022の進捗について （2）今後のスケジュールについて	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次第</li> <li>・ 行田市行政改革推進委員会委員名簿</li> <li>・ 【資料1】 行田市行財政集中改革プラン2022 （令和4年度上半期の進捗状況）</li> <li>・ 【資料2】 スケジュール</li> </ul>	
その他必要事項	傍聴者　1名	
会議録の確定	確定年月日	主宰者氏名
	令和5年3月3日	新井啓介

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 あいさつ</b></p> <p><b>3 議事</b></p>
司 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事に入る前に、本日はペーパーレス会議であるため、パソコン端末に格納している資料の確認をお願いします。</li> <li>・それでは、次第3議事に移らせていただく。</li> <li>・議事の進行は、行政改革推進委員会設置条例第5条の規定に基づき、新井会長に進行をお願いします。</li> </ul>
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、暫時、議長を務めさせていただきます。</li> <li>・議事の前に、第1回委員会で皆様にご了承いただいたとおり、会議は公開とし、会議録を市のホームページ及び市政情報コーナーで公開するため、ご了承いただきたい。</li> <li>・はじめに、議事（1）「行田市行財政集中改革プラン2022の進捗」について、事務局に説明をお願いします。</li> </ul>
事 務 局	<p>（1）「行田市行財政集中改革プラン2022の進捗」について、資料1により説明</p>
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の議題は、「行田市行財政集中改革プラン2022」の上半期の進捗状況である。事務局から説明があった取組項目やその他の取組項目について、各委員から意見をいただきたい。いただいた意見は、必要に応じて、庁内で共有または参考にさせていただき、改革を推進していただきたいと考えている。</li> </ul>
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗状況については、改革主管課にて一生懸命取り組んでいることを把握することができた。進捗状況とは離れるが、スマート自治体を推進するための初期導入経費と年間の運用経費は市全体としてどれほど掛かっているのか教えてもらいたい。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局で正確な数字を把握できてない。今後、調べた結果を報告させていただきます。</li> </ul>
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に、委員から意見はあるか。</li> </ul>
長岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組項目（2）公共施設予約手続きの簡素化について、公共施設予約システムで地域公民館の空き状況を確認することができる。しかし、利用したい日時を電話で事前予約した後、本人が地域公民館に</li> </ul>

事務局	<p>直接出向しないと予約できない状態である。二重の手間が生じているため、改善して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、中央公民館のみ公共施設予約システムで予約できる状態である。地域公民館についても、令和5年度から公共施設予約システムで予約できるよう検討している。</li> </ul>
新井会長 寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に意見はあるか。</li> <li>・取組項目（8）市民・NPO・民間企業・大学との連携による各種事業の展開について、具体的に民間企業等と連携してどのような成果が出ているのか教えて欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでも、様々な民間企業等と連携を図ってきたが、本市との連携を希望する民間企業等にとって、自ら連携先となる市担当課を探す必要があり、負担となっていた。また、複数の民間企業と連携協定を締結するものの、実際に連携先と具体的な事業を進めている例が少なかった。これらの課題を解消するため、公民連携のワンストップ窓口として「C o - L a b o G y o d a」を設置し、民間企業等との連携状況を一元管理できる体制を整備した。これにより、提案をいただいた民間企業等と関係する所属を即座につなぎ、円滑な事業実施に向けて伴走する他、既に連携している民間企業等との事業展開の検討や、新規連携先の掘り起こしを行うなど、公民連携に向けた取組みを推進している。</li> <li>・具体的な成果として、2つ紹介させていただく。1つは、株式会社クラッソーネと連携し、市ホームページ上で空き家の解体シミュレーションができ、所有者等に概算費用を提示するサービスを提供している。もう1つはN T T 東日本株式会社と多言語翻訳技術の高度化に関する研究開発における実証実験を実施し、外国人が市役所の窓口を訪れる場面等を想定して、多言語翻訳技術を活用して円滑に意思疎通できるか確認した。こうした先端デジタル技術に直に触れることにより、職員の自治体D Xに対する意識醸成につながったのではないかと考えている。</li> </ul>
寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「C o - L a b o G y o d a」では、民間企業等との連携に当たり、市から行政課題を提示した上で民間企業等から提案を募っているのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市の公民連携の事例を見ると、行政課題を提示して提案を募る方法と、民間企業等から自由に提案をいただく方法がある。本市では、ダイレクトメールなどで情報発信していく中で、基本的には民間企業等から自由に提案をいただく案件が中心である。</li> <li>・上半期の実績として、新たに4事業者と連携事業を順次開始したと記載があるが、現時点では10以上の事業者と連携事業に取り組んでおり、着実に実績を上げている。</li> </ul>
寺山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携事業の内容などは、公表されるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組結果については、連携協定の締結や連携事業の実施結果として、市のホームページなどを通じて随時、情報発信している。</li> </ul>
金井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語翻訳技術の実証実験では、市役所職員が外国人の窓口来庁者に対応する場面を設定した。実証実験に協力していただく窓口担当職員が複数部署に跨っていたが、「C o - L a b o G y o d a」があったお陰で調整が円滑に進み、スムーズに実施できた。大変感謝している。</li> </ul>
新井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に意見はあるか。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組項目（1）電子申請サービスの拡充に関連することだが、マイナンバーカードの普及について、行田市の交付率は他の自治体と比較してどうか。また、マイナポイントの申請期限が延長されたが、今後のマイナンバーカードの交付の見通しについてどのように考えているか。普及に向けて、障害となっていることは何か教えてもらいたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年12月末日時点で交付率は50.3%、申請ベースだと65.4%である。交付率が県内40市中31番目である一方、伸び率は県内3位であり、右肩上がり交付率を伸ばしている。</li> <li>・普及した要因としては、マイナンバーカードの出張申請サポートを実施したことが挙げられる。また、カードの受取り時に原則、本人の来庁が必要となっているが、日中仕事等で来庁できない方などに対応するため、火曜日と木曜日の午後7時まで交付時間を延長し、土・日曜日にも窓口を開けて交付してきたことなども考えられる。今後の見通しについては、国においてマイナンバーカードと運転免許証の一体化の動きがあることなどを見据えると、交付率も今後上が</li> </ul>

<p>寺山委員</p>	<p>っていくものと考えられる。</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナンバーカードが普及しない要因として、個人情報の管理があると思うが、市民に対してはどのように説明しているのか。</li> <li>・顔写真入りでＩＣチップも付いているカードであるため個人情報が出してしまうなどの懸念を抱いている方もいると思う。しかし、国でも高い安全性を有しているカードである旨を広報していると承知している。市でも、例えば、ＩＣチップには税や年金の金額といった個別の情報までは入っていないなど、引き続き、丁寧に説明し、誤解を払拭していきたいと考えている。</li> </ul>
<p>ビチャイ委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組項目（１５）テレワークの推進について、成果指標にテレワーク可能な所属と記載されている。テレワーク可能な所属とは、具体的にどのような所属における業務なのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、税務課、福祉課など個人情報を取り扱う所属や現場での活動を要する消防職員は、テレワークの実施が難しいのではないかと考えている。逆に、テレワークができる所属としては、個人情報を取扱いしない管理部門の所属などで実施できるのではないかと考えている。</li> </ul>
<p>寺山委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組項目（４）ＧＩＧＡスクール構想の推進について、私自身、子どもの貧困対策に取り組んでいる。貧困世帯の子どもにタブレット端末を与えたとしても、実際、家庭で学習できる環境にないということが現状としてある。子ども第三の居場所づくりとして「子ども食堂」や「学習支援」などの取組が挙げられるが、ＧＩＧＡスクール構想の推進に必要な装置を貧困世帯の子どもたちに提供し、「子ども食堂」で学習できる環境を構築していくことを私自身の構想として持っている。</li> <li>・ＧＩＧＡスクール構想を推進していく中で、子どもたちが健全に成長するためには、貧困世帯の子どもたちに対しても必要な支援をすべきと考えている。我々は直接的に学習支援をすることができないが、こうした考えや思いを伝えている中で、社会貢献として貧困世帯の子どもたちに対してサービスを提供している学習塾が１社名乗り出てくれた。こうした取組により、貧困世帯の子どもたちが人間力を養えるようであれば、自治体の方に賛同していただきたいと考</li> </ul>

<p>森田委員</p> <p>事務局</p>	<p>えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組項目（19）自主財源確保の取組強化について、市が保有している遊休市有地の売却実績はどの程度であるか。</li> </ul>
<p>森田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売却件数は、平成28年度は3件、平成29年度は2件、令和元年度は1件、令和2年度は1件、令和3年度は2件である。売却額は、場所や面積に応じて様々であるが、最も売却額が大きかったのは、現在、HANAホテルが建てられている佐間1丁目の土地で約1億3千万円程度である。</li> </ul>
<p>森田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各年度の予算収支を見てみると、財政調整基金を繰り入れて均衡が保たれていると認識している。現在は、遊休市有地の売却益は、一般財源に充てていると思うが、大きな支出に対応できるよう基金に積み立てする方がよいのではないかと思っている。</li> </ul>
<p>新井会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続いて、議事（2）「今後のスケジュール」について、事務局に説明をお願いする。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<p>（2）「今後のスケジュール」について、資料2により説明</p>
<p>新井会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から説明に対し、各委員から意見があればいただきたい。</li> <li>・特にないようなので、本日の議事は以上とする。</li> <li>・これにて、会議の進行を事務局にお返しする。</li> </ul>
<p>司 会</p>	<p><b>4 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上をもって、令和4年度第2回行田市行政改革推進委員会を終了する。</li> </ul>